



兵庫県立歴史博物館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY



齋藤崎庵

2024年

7/13^土 - 9/1^日

SAITO KIAN: The Utopian Landscapes Drawn by a Kinosaki-Born Painter

城崎の画家が夢見たユートピア



企画展

「齋藤崎庵 - 城崎の画家が夢見たユートピア -」

齋藤崎庵(1805-83)は、幕末から明治にかけて活躍した城崎(兵庫県豊岡市)生まれの文人画家です。幼くして耳を患ったことから詩や絵画に心を寄せるようになったという崎庵は、兵庫県内のみならず四国、九州を旅して多くの人びとと出会い、詩画の腕を磨きました。晩年には活躍の場を東京に移し、79歳で没するまで数多くの山水画を描きました。彼の作品は、緻密でありながらも俗気がないと評価されました。

令和4年、長年にわたり齋藤崎庵の研究と作品収集をしてこられた関茂昭氏より、崎庵の書画コレクションが兵庫県立歴史博物館に寄贈されました。これにより崎庵の画家としてのあゆみを振り返ることが可能となりました。

この展覧会では、関茂昭氏のコレクションを中心に、関連する資料を交えながら崎庵を紹介し、知られざる郷土の画家・齋藤崎庵の魅力に迫ります。心遊ばせる理想郷として描かれた崎庵の山水画の世界をお楽しみください。

展覧会のみどころ

◆最高！ 斎藤崎庵の生涯と作品を史上最大規模で展示

斎藤崎庵に関する展覧会は、近年では平成 29 年に豊岡市立歴史博物館で企画展「斎藤崎庵の軌跡—城崎が生んだ幕末～明治の南画家—」が開催され、郷土の偉人として崎庵が紹介されました。

本展はこのような近年の研究成果に学びつつ、新たな作品、資料を交えて開催する史上最も大規模な崎庵展。ふすまや屏風の大作から手のひらに収まる小さな画帖(折り本)まで、彼の作品と関連資料およそ 100 点を展示します。お気に入りの一点が見つかるかもしれません。

◆再考： 斎藤崎庵—知られざるふるさと画家の横顔に迫る

崎庵は兵庫県出身の画家ですが、県内でもご存知の方は少ないのではないのでしょうか。実は城崎のある但馬だけでなく、姫路、明石、神戸、洲本などに逗留し各地の文化人たちと交流しており、「但馬の画家」にとどまらず「兵庫県の画家」というにふさわしい人物といえます。

本展では、彼の交友関係を伝える資料など、作品以外の新出資料も交えて、知られざるふるさと画家・斎藤崎庵の生涯をたどります。

◆崎庵翁奇譚（きあんおうきたん）！—魅力的な人がらを伝える逸話を 4 コマで

崎庵はどんな人だったのでしょうか。彼の人がらを伝えるエピソードを紹介するオリジナル 4 コマまんが「崎庵翁奇譚！」は必見です。文人画や山水画がはじめての方も、ぜひその人となりを感じてみてください。

開催概要

会期	令和 6 年 7 月 13 日（土）～9 月 1 日（日）	開館 44 日間
開館時間	10:00～17:00（入館は 16:30 まで）	
休館日	月曜日 ※ただし、ただし 7 月 15 日（月・祝）、8 月 12 日（月・祝）は開館、7 月 16 日（火）、8 月 13 日（火）は休館	
会場	兵庫県立歴史博物館 特別展示室 〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68 電話：079-288-9011 FAX：079-288-9013	
主催	兵庫県立歴史博物館、神戸新聞社	
後援	兵庫県、兵庫県教育委員会、NHK 神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西	
協力	山陽電気鉄道株式会社、神姫バス株式会社	
協賛	公益財団法人グローリー小学生育成財団、公益財団法人日本教育公務員弘済会 兵庫支部	
特別協力	城崎温泉観光協会	

観覧料金	個人	団体	
大人	500 円	400 円	※団体は 20 名以上 ※障がい者 1 人につき、介護者 1 人は無料
大学生	350 円	250 円	
70 歳以上	250 円	200 円	※7月13日(土)～15日(月・祝)は プレミアム芸術デーのため観覧無料
障がい者 一般	100 円	100 円	
大学生	50 円	50 円	
高校生以下	無料	無料	

展覧会の構成とおもな展示資料

※会期中展示替えがあります。

前期：7月13日(土)～8月4日(日) / 後期：8月6日(火)～9月1日(日)

1. 崎庵を生んだ城崎一山房、愛宕山を負い大溪川に俯す

崎庵の生い立ちや当時の城崎に関する資料を紹介するとともに、崎庵が城崎のアトリエ・白雲山房で描いた大作をご覧ください。



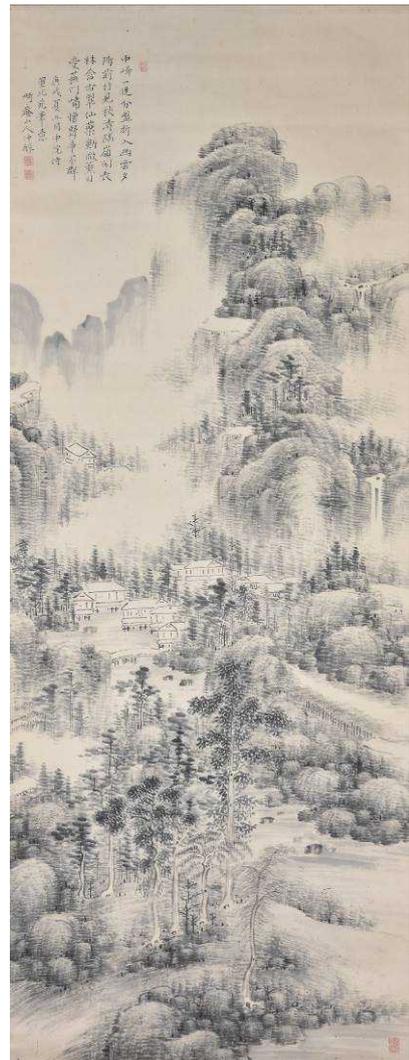
齋藤崎庵《竹巖秋雨》1866年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】



齋藤崎庵《夏景山水》1867年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】

2. 画業のはじめ—弱冠画を竹洞先生に学ぶ

崎庵は若いころ、京都で文人画家として名を馳せていた中林竹洞に画を学んだといえます。竹洞の影響を受けた崎庵の初期作品を、竹洞の作品と比較します。



齋藤崎庵《倣董源山水》1850年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】

3. 旅立ち—山水の奥旨を究む

竹洞に学んだのち、崎庵は播磨や淡路、四国、九州を旅して各地に所蔵される中国絵画を模写し、自ら山々を踏破して雄大な景色に触れました。竹洞のもとを離れて独自の道を歩みはじめた崎庵の作品を紹介します。



齋藤崎庵《山水》1858年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】



齋藤崎庵《那智瀑布》1848年
兵庫県立歴史博物館蔵
関茂昭コレクション【前期】

4. 円熟—時事の艱を聞くを免る



長期にわたる九州遊歴から帰還した崎庵は、50代後半から60代にかけて、地元・城崎を拠点に活動しました。幕末から明治へ移り変わる混乱した時代でしたが、崎庵にとっては、但馬、丹後の寺院に障壁画の大作を描くなど充実した時期でした。円熟期を迎えた崎庵の作品をご覧ください。

齋藤崎庵《夏日溪居》
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【後期】

5. 晩年の挑戦—緻密にして俗気なし

70代に入ると、崎庵は東京へ移住します。緻密でありながらも俗っぽさがないと評価された崎庵の晩年の画境を示す作品をご覧ください。



齋藤崎庵《四時山水》(部分) 1880年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】

番外編 きあん先生、うさぎも描いて (第2会場: コレクションギャラリー)

崎庵の作品のほとんどが山水画ですが、人物や花鳥を描くこともありました。番外編として、山水画以外の切り口から崎庵の作品を紹介します。



齋藤崎庵《暗香籠月》1839年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】

関連イベント

(1) 講演会 れきはくアカデミー「齋藤崎庵の生涯と作品」

日 時：令和6年8月3日（土） 14：00～15：30

講 師：山口 奈々絵（当館 学芸員）

会 場：兵庫県立歴史博物館 講堂

参加費：無料

定 員：80名（事前申込制・応募者多数の場合は抽選）

【申込期間】令和6年6月22日（土）～7月15日（月）

【申込方法】当館ホームページ、または往復はがき

(2) 展示解説

日 時：7月13日（土）11:00～12:00

8月10日（土）11:00～12:00

会 場：企画展展示室

参加費：無料（※観覧券が必要）

(3) やさしい鑑賞ガイド「目で“聞く”崎庵の山水画」

やさしい言葉でゆっくりと作品鑑賞の見どころをお話しします。

日 時：7月14日（日）13：00～13：40

8月24日（土）13：00～13：40 ※手話通訳付き。

会 場：企画展展示室

参加費：無料（※観覧券が必要）

(4) 崎庵と旅する城崎・姫路

城崎の温泉寺・文芸館と姫路の当館をめぐるります。

3箇所のスタンプを集めた方には記念品を贈呈します（先着150名）。

※詳しくは当館ホームページをご覧ください。

期 間：7月13日（土）～11月26日（火）

※令和6年秋、城崎文芸館にて齋藤崎庵の展示を開催予定です。

(3) 自由に話せる観覧日

小さな子ども連れの方も、静かに鑑賞するのが苦手な方も、周りを気にせずにご観覧ください。

日 時：7月14日（日）、8月11日（日）

アクセス

交通

- J R姫路駅北口、山陽電車山陽姫路駅南の神姫バス姫路駅バスターミナル7番、8番のりばから約8分「姫山公園北・博物館前」下車（国立医療センター経由系統）
- 神姫バス姫路駅バスターミナル6番のりばから城周辺観光ループバスで約8分「博物館前」下車

駐車場

- 博物館には駐車場がありません。有料駐車場P（姫路市営城の北、姫山駐車場）をご利用ください。
- 大型バスでご来館の場合は、事前に当館へご連絡ください



お問い合わせ先

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町 68 番地

TEL 079-288-9011 FAX 079-288-9013

<https://rekihaku.pref.hyogo.lg.jp/>

担当：学芸課 山口 奈々絵

資料請求書

兵庫県立歴史博物館 FAX 079-288-9013

ご希望の写真番号を選び紙焼きもしくはデジタル欄に○印を付けてください。

番号	資料名	紙焼き	デジタル
1	齋藤崎庵《竹巖秋雨(ちくがんしゅうう)》1866年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期展示】		
2	齋藤崎庵《夏景山水(かけいさんすい)》1867年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期展示】		
3	齋藤崎庵《倣董源山水(ほうとうげんさんすい)》1850年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期展示】		
4	齋藤崎庵《山水(さんすい)》1858年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期展示】		
5	齋藤崎庵《那智瀑布(なちばくふ)》1848年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【前期展示】		
6	齋藤崎庵《夏日溪居(かじつけいきよ)》 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【後期展示】		
7	齋藤崎庵《四時山水(しじさんすい)》(部分) 1880年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期展示】		
8	齋藤崎庵《暗香籠月(あんこうろうげつ)》1839年 兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期展示】		

※上記の画像を媒体掲載されるときは、資料名を必ず入れてください。

貴社名			
媒体名			
ご住所	〒		
ご担当者			
メールアドレス			
電話番号	FAX		
掲載・放送予定日			
読者・視聴者へのプレゼント (有・無) 招待券必要枚数()枚 最大5組10名様分まで	組 名様分希望		

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、掲載誌・URL等を、事業企画課までお送り願います。

企画展「齋藤崎庵—城崎の画家が夢見たユートピア—」

画像資料



01 齋藤崎庵《竹巖秋雨》1866年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】



02 齋藤崎庵《夏景山水》1867年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】



03 齋藤崎庵《傲董源山水》1850年
兵庫県立歴史博物館蔵
関茂昭コレクション【通期】



05 齋藤崎庵《那智瀑布》1848年
兵庫県立歴史博物館蔵
関茂昭コレクション【前期】



06 齋藤崎庵《夏日溪居》
兵庫県立歴史博物館蔵
関茂昭コレクション【後期】



04 齋藤崎庵《山水》1858年
兵庫県立歴史博物館蔵
関茂昭コレクション【通期】



07 齋藤崎庵《四時山水》(部分) 1880年
兵庫県立歴史博物館蔵 関茂昭コレクション【通期】



08 齋藤崎庵《暗香籠月》1839年
兵庫県立歴史博物館蔵
関茂昭コレクション【通期】